

2016 年 8 月 3 日(水)

フェスティバル/トーキョー実行委員会事務局

国際舞台芸術祭「フェスティバル/トーキョー16」 全プログラム発表記者会見およびレクチャーのご案内

日本初上陸ポーランドの巨匠クリスチャン・ルパ演出『Woodcutters — 伐採 —』等、
主催 16 演目+連携 14 演目を上演決定

フェスティバル/トーキョー実行委員会(名誉実行委員長:高野之夫 豊島区長、実行委員長:福地茂雄 公益財団法人新国立劇場運営財団顧問)は、「フェスティバル/トーキョー16」の主催 16 演目および連携 14 演目を発表いたしました。

フェスティバル/トーキョー(以下 F/T)は、東京芸術劇場をはじめ池袋エリアに集結する文化拠点を中心に行なわれる日本最大級の国際舞台芸術祭です。第 9 回となる F/T16 は東京芸術祭 2016 の一環として開催され、国内外から集結する主催 16 演目+連携 14 演目を 2016 年 10 月 15 日(土)~12 月 11 日(日)までの 58 日間にわたり上演いたします。

つきましては、F/T16 とメインプログラム『Woodcutters — 伐採 —』をより多くの皆様にお伝えする機会として、駐日ポーランド大使館、ポーランド広報文化センターのご協力のもと、下記のとおり発表会見およびレクチャーを開催いたしますのでご案内いたします。

なお、ご出席いただけます場合には、web サイト、e-mail または FAX(別紙の返信用紙をお使いください)にて 8 月 26 日までにご返送くださいますようお願い申し上げます。

★申込ウェブサイト→ <https://pro.form-mailer.jp/fms/9aeee35d104824>

■F/T16「境界を越えて、新しい人へ」全プログラム発表記者会見

日時: 2016 年 8 月 30 日(火)14:00~14:50 (受付 13:30)

内容:フェスティバル/トーキョー16 概要・メインプログラム説明、質疑応答、撮影

登壇者: ピョトル・ルツキ(演劇学者、ヴロツワフ・ポーランド劇場ドラマトゥルク)

市村作知雄(F/T16 ディレクター)

■レクチャー「クリスチャン・ルパの演劇」

日時: 2016 年 8 月 30 日(火)15:00~16:00 ※レクチャー後に懇親会を予定しています。

内容: 作品映像から読み解くクリスチャン・ルパの演劇作品

講師: ピョトル・ルツキ(演劇学者、ヴロツワフ・ポーランド劇場ドラマトゥルク)

会場: 駐日ポーランド共和国大使館 (別紙地図をご参照ください)

主催 : フェスティバル/トーキョー実行委員会

共催 : ポーランド広報文化センター 後援: 駐日ポーランド共和国大使館

フェスティバル/トーキョー16 (Festival/Tokyo 2016) 開催概要

会期: 平成 28 年 (2016 年) 10 月 15 日 (土) ~12 月 11 日 (日) 58 日間

会場: 東京芸術劇場、あうるすぽっと、にしすがも創造舎、池袋西口公園、森下スタジオ ほか

主催 : フェスティバル/トーキョー実行委員会

豊島区/公益財団法人としま未来文化財団/NPO 法人アートネットワーク・ジャパン、

アーツカウンシル東京・東京芸術劇場 (公益財団法人東京都歴史文化財団)

・フェスティバル/トーキョー16 は東京芸術祭 2016 の一環として開催されます。

『Woodcutters — 伐採 —』 ポーランドの巨匠が国と芸術のあり方に警鐘を鳴らす。

- タデウシュ・カントル、ピーター・ブルックにならぶ
ヨーロッパ演劇界「現代演劇界の巨匠」
クリスチャン・ルパの作品が日本初上陸。
- 1984 年にオーストリアで実際に起きた話に
基づいた小説をポーランドに置き換え、
国と芸術のありかたに警鐘を鳴らした作品。
- ルパが仕掛ける退廃的でスタイリッシュな
時空間に潜む、痛烈な 4 時間 20 分。



ヨーロッパ演劇界「現代演劇界の巨匠」クリスチャン・ルパの作品がフェスティバル/トーキョー16 でついに日本初上陸を果たします。ルパが生涯にわたって取り組み続けているオーストリアの作家トーマス・ベルンハルトによる同名の小説を翻案・演出した本作『Woodcutters — 伐採 —』は、2014 年ポーランド国内の演劇賞を総なめにし、フランス等で上演され、世界的な成功を収め続ける上演時間 4 時間 20 分の大作です。

あらすじ：舞台は自殺した女優の葬儀後に開かれた「アーティスティック・ディナー」会場。女優の旧友たちであり、社会に翻弄され芸術的理想を忘れた過剰なエゴにまみれた芸術家たちが集う。友人の弔いをよそに飲み続け、酔って互いの本音を吐露し、辛辣な批判や自虐、激しい怒りをぶつけ合います。

翻案・美術・照明・演出：クリスチャン・ルパ 作：トーマス・ベルンハルト

東京芸術劇場 プレイハウス / 10 月 21 日（金）～ 10 月 23 日（日）計 3 ステージ

一般前売（全席指定）5,500 円/ 当日 6,000 円、学生 3,000 円 ほかセット券あり

上演時間：4 時間 40 分（途中休憩 20 分あり） ポーランド語上演／日本語字幕

製作：ヴロツワフ・ポーランド劇場

特別協力：ポーランド広報文化センター、Propel Performing Arts & Media Co., Ltd 共催：Culture.pl

演出家プロフィール：クリスチャン・ルパ (Krystian Lupa)

演出家、舞台美術家、作家。1943 年生まれ。美術・照明デザインも手がける。物理、絵画、グラフィックや舞台演出を学び、1976 年ムロジェク作『屠殺場』で演出家でデビュー。1980 年代後半からは国立スタリィ劇場で創作活動を行い、主にロシア、ドイツ、オーストリア作家作品の翻案・演出に取り組む。特に舞台化が難しいとされるトーマス・ベルンハルトの戯曲・小説作品の翻案・演出に魅了されるルパは、これまでに、『イマニュエル・カント』、『石灰工場』、『消去』、『英雄広場』等々の上演に成功している。

記者会見登壇者・レクチャー講師プロフィール：ピョトル・ルツキ (Piotr Rudzki)

演劇学者。ヴロツワフ・ポーランド劇場ドラマトゥルク。1995 年から 2000 年にかけてデリー大学（インド）で教鞭をとり、現在ヴロツワフ大学准教授。ポーランド現代演劇を専門とし、2013 年に出版したヴィトカツィに関する著作では 1956 年から 1989 年までのポーランド演劇に関する包括的な視点をもたらした。1994 年よりポーランドの演劇雑誌『Notatnik Teatralny (Theatrical Notebook)』の編集委員を務め、クリスチャン・ルパに関する記事も多数執筆している。

FAX ご返信用紙 FAX 03-5961-5207

ご出席の方は8月26日(金)までにFAX、申込ウェブサイト、メールにて返信をお願い致します。

★申込ウェブサイト→ <https://pro.form-mailer.jp/fms/9aeec35d104824>

★メール→ press@festival-tokyo.jp (お名前、媒体名、ご連絡先等をご記入下さい)

駐日ポーランド共和国大使館

地図 & アクセス



★駐日ポーランド共和国大使館のセキュリティ規定により、会場入り口にてご登録のお名前を確認させていただきます。

ご登録のない方はご入場いただけませんので、ご注意ください。

ご出席 ・ ご欠席 (いずれかに○)

ご出席の方: 記者会見のみ出席 ・ 記者会見・トークともに出席 ・ トークのみ出席

(※いずれかに○)

お名前(日本語): _____ (英字) _____

御社名(日本語): _____ (英字) _____

御媒体名: _____ 御参加人数: _____

TEL: _____ FAX: _____

e-mail: _____ 撮影: スチール / ムービー / 撮影予定なし

(※いずれかに○)

備考: (当日、個別取材が可能です。ご希望がありましたらこちらにご記入ください)

※お送りいただきました個人情報(お名前、ご所属先等、電話番号、電子メールアドレス)は、本記者発表に関する目的以外には使用いたしません。

本資料のお問い合わせ フェスティバル/トーキョー実行委員会事務局 広報担当: 小倉・武田

電話: 03-5961-5202 ファクス: 03-5961-5207 Eメール: press@festival-tokyo.jp

〒170-0004 東京都豊島区北大塚 1-15-10 東部区民事務所 3 階 www.festival-tokyo.jp/